

第16回玄海地域原子力防災協議会作業部会 議事概要

1. 日 時

平成30年5月29日（火） 14:00～15:00

2. 場 所

佐賀県オフサイトセンター

3. 出席者

国 : 内閣府、原子力規制庁、九州経済産業局、海上保安庁

関係自治体等 : 佐賀県、長崎県、福岡県

オブザーバー : 玄海町、唐津市、伊万里市 （以上、佐賀県）

松浦市、佐世保市、平戸市、壱岐市 （以上、長崎県）

九州電力株式会社

4. 議 題

(1) 平成29年度原子力総合防災訓練実施成果について

(2) 「玄海地域の緊急時対応」の改定について

(3) その他

5. 概 要

(1) 平成29年度原子力総合防災訓練実施成果について

内閣府から、平成29年度原子力総合防災訓練実施成果について説明を行い、今後、地域原子力防災協議会での検討を通じて「玄海地域の緊急時対応」や、各種計画・マニュアル等を改善することとした。また、今回の訓練で得られた教訓を、原子力防災体制の更なる充実や今後の訓練に反映し、継続的に改善することとした。

(2) 「玄海地域の緊急時対応」の改定について

内閣府から、玄海地域の緊急時対応の一層の具体化・充実化に向け、以下の事項について説明を行った。

○バス避難時における避難誘導の円滑化

PAZ及びPAZに準じた地域での、施設敷地緊急事態におけるバス順路の明確化等について

○国の要員・資機材等の緊急搬送先の多重化

緊急輸送経路の多重化（昨年9月に実施した原子力総合防災訓練において実施した福岡空港の利用）について

○避難状況の把握・渋滞緩和対策

ヘリテレ伝送システムを用いた災害情報の収集及び渋滞緩和対策の実施について

○複合災害等（地震）により屋内退避が困難となる場合の対応

複合災害時において、自然災害による差し迫った危険がある場合には、生命の安全確保を優先することの明確化について

○観光客等一時滞在者への対応

観光客等一時滞在者への情報伝達体制等の整理について

○安定ヨウ素剤の配備等の充実化

安定ヨウ素剤の備蓄及び配布並びに国による安定ヨウ素剤の備蓄について

○原子力災害時における医療体制の連携・強化

原子力災害拠点病院、原子力災害医療協力機関の指定による原子力災害時における医療体制の連携・強化について

(3) その他

関係自治体から、住民は避難そのものに不安を感じているため、道路整備をはじめとしたインフラの整備等が必要との説明があり、これら課題については地域原子力防災協議会の枠組みなどを活用し、関係自治体や関係省庁としっかりと共有するとともに、一体となって改善策の検討を行っていくこととした。

以上